

## 各学科等の教育

### ■ 入学者に関する受け入れ方針

東洋理容美容専門学校の教育理念に基づいた人材育成を行うために、教育を受けるにふさわしい学力と倫理観を備えるとともに、創造力に富み、向学の精神を有する学生を受け入れることを目指す。

### ■ 入学定員及び収容定員

課程名	学科名	昼夜の別	修業年限	入所時期	入学定員	収容定員
衛生専門課程	理容科	昼間	2年	4月	40名(1学級)	80名
衛生専門課程	美容科	昼間	2年	4月	240名(6学級)	480名
衛生専門課程	美容修得者理容科	昼間	1年	4月	20名(1学級)	20名
衛生専門課程	理容修得者美容科	昼間	1年	4月	20名(1学級)	20名

### ■ 学生データ

学科名	令和3年入学者(1学年)					令和2年入学者(2学年)		
	入学者数 (男/女)	推薦入学者数		一般入学者数		入学者数 (男/女)	進級者数 (男/女)	中退者数 留年者数
		現役生	既卒者	現役生	既卒者			
理容科	24 (20/4)	7	0	16	1	15 (11/4)	15 (11/4)	0 0
美容科	239 (68/171)	73	0	166	0	148 (41/107)	141 (39/102)	7 0

※美容修得者理容科、理容修得者美容科は在籍なし

学科名	令和3年3月卒業者				
	入学者数 (男/女)	卒業者数 (男/女)	就職希望者数 (男/女)	就職者数 (男/女)	専門職への就職者数 (男/女)
理容科	9 (8/1)	9 (8/1)	9 (8/1)	9 (8/1)	9 (8/1)
美容科	139 (51/88)	130 (42/88)	125 (41/84)	125 (41/84)	125 (41/84)

※美容修得者理容科、理容修得者美容科は在籍なし

※ 就職地域、主な就職先、就職サポートはこちらから

<http://www.toyoribi.ac.jp/career.html>

## ■カリキュラム、進級・卒業の要件等（学則抜粋）

### 第4章 教育課程、学年の課程修了の認定及び卒業等

（教育課程及び授業時数）

第18条 本校の教育課程及び授業時数は、別表第1のとおりとする。

2 別表第1に定める授業時数の1単位時間は、50分とする。

3 授業時数を単位数に換算する場合の計算方法は30時間をもって1単位とする。

（課程修了の認定）

第19条 課程の修了は、生徒の平素の成績を評価し、かつ学年末において試験の成績及び卒業資格認定のための課題作業等により認定する。

（卒業）

第20条 前条の規定により生徒が本校所定の全課程を修了したと認められるときは、卒業証書を授与する。

2 前項において、専門課程理容科、専門課程美容科を修了した者には、専門士（衛生専門課程）の称号を授与する。

（原級留置）

第21条 生徒のうちで当該学年における所定の教育課程を修了することができなかつた者について、教育上必要があるときは、原級に留め置くことができる。

（在籍期間）

第22条 前条の規定により生徒を原級に留め置き卒業が延期された場合の在籍期間は、専門課程においては入学から3年間、通信課程においては入学から6年間を限度とする。ただし、校長の許可を得た休学の期間は在学年数に算入しない。

(別表第1) 教育課程及び授業時数

## ＜衛生専門課程 理容科＞

課 目		内 容	時間数(単位数)	
必 修 課 目	関係法規・制度	理容業に関する法律や制度の意義、内容を学び、理容師として働く際の社会的責任や心構えを養います。	30 (1 単位)	
	衛生管理	感染症や衛生管理の知識を習得し、公衆衛生の重要性を理解するとともに、実際に使用する器具の消毒方法を学びます。	90 (3 単位)	
	保健	皮膚や毛髪、人体の構造と機能などに関する専門知識を、実際の理容・美容技術に関連させて理解していきます。	90 (3 単位)	
	化粧品化学	化粧品、薬剤などを正しく安全に取り扱うために必要な化粧品化学の知識を学習します。	60 (2 単位)	
	文化論	理容・美容の歴史やファッションの変遷を学び、デザインや色彩学などを通じて美的センスと豊かな表現力を養います。	60 (2 単位)	
	理容技術理論	理容器具の種類や正しい使用方法を理解し、実践の作業に即して理容の技術理論を学びます。	150 (5 単位)	
	運営管理	経営管理の理論や接客など、サロン経営に必要な専門知識を学び、これらを実践するための力を身につけます。	30 (1 単位)	
	理容実習	理論をふまえた上で、カット、シャンプー、シェービング、ワインディングなど基礎から応用まで幅広く技術を身につけます。	900 (30 単位)	
選 択 必 修 課 目	一 般 教 養	芸術	優れた芸術作品に親しみ、鑑賞する能力を身につけ、生涯にわたって芸術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養います。	30 (1 単位)
		外国語	英語の基礎的会話能力を身につけ、語学学習を通じて外国の文化、生活習慣などに関する理解を深めます。	30 (1 単位)
		色彩学	色彩の見え方や補色、さまざまな視覚効果を通して、それらがファッションやデザインの分野でどのように活かされているかを学びます。	30 (1 単位)
	専 門 教 育	接客法	理容業における接客の意義と技術について具体的事例を挙げながら学びます。	60 (2 単位)
		トータル・ケア	ネイルケア、エステティック、ヘッドスパなどトータルなケア技術を習得します。	120 (4 単位)
		総合技術	必修課目において習得した基礎技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につけます。毛髪技能検定取得も目指します。	180 (6 単位)
		国家試験対策	カット、シェービング、セットの国家試験課題をマスターし、すべて技術が国家試験の手順通りに衛生的に行えるようにします。	90 (3 単位)
	コ ー ス	スタイリスト サスーンカット エステ 着付け	必修課目において習得した基礎技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につけ、それぞれのコースで認定資格取得を目指します。	60 (2 単位)
	合 計			2,010 (67 単位)

<衛生専門課程 美容科>

課 目		内 容	時間数(単位数)	
必 修 課 目	関係法規・制度	理容業に関する法律や制度の意義、内容を学び、理容師として働く際の社会的責任や心構えを養います。	30 (1 単位)	
	衛生管理	感染症や衛生管理の知識を習得し、公衆衛生の重要性を理解するとともに、実際に使用する器具の消毒方法を学びます。	90 (3 単位)	
	保健	皮膚や毛髪、人体の構造と機能などに関する専門知識を、実際の理容・美容技術に関連させて理解していきます。	90 (3 単位)	
	化粧品化学	化粧品、薬剤などを正しく安全に取り扱うために必要な化粧品化学の知識を学習します。	60 (2 単位)	
	文化論	理容・美容の歴史やファッションの変遷を学び、デザインや色彩学などを通じて美的センスと豊かな表現力を養います。	60 (2 単位)	
	美容技術理論	美容器具の種類や正しい使用方法を理解し、実践の作業に即して美容の技術理論を学びます。	150 (5 単位)	
	運営管理	経営管理の理論や接客など、サロン経営に必要な専門知識を学び、これらを実践するための力を身につけます。	30 (1 単位)	
	美容実習	理論をふまえた上で、カット、カラーリング、ワインディングなど基礎から応用まで幅広く技術を身につけます。	900 (30 単位)	
選 択 必 修 課 目	一 般 教 養	芸術	優れた芸術作品に親しみ、鑑賞する能力を身につけ、生涯にわたって芸術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養います。	30 (1 単位)
		外国語	英語の基礎的会話能力を身につけ、語学学習を通じて外国の文化、生活習慣などに関する理解を深めます。	30 (1 単位)
		色彩学	色彩の見え方や補色、さまざまな視覚効果を通して、それらがファッションやデザインの分野でどのように活かされているかを学びます。	30 (1 単位)
	専 門 教 育	接客法	美容業における接客の意義と技術について具体的事例を挙げながら学びます。	60 (2 単位)
		トータル・ビューティー	エステティック、メイク、ネイル、アップなどトータル・ビューティー技術を習得します。婚礼知識や洋装、和装の技術など幅広く学び、ブライダルビューティープランナーの資格取得を目指します。	150 (5 単位)
		総合技術	必修課目において習得した基礎技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につけます。毛髪技能検定取得を目指します。	150 (5 単位)
		国家試験対策	カット、ワインディング、ウェーブの国家試験課題をマスターし、すべて技術が国家試験の手順通りに衛生的に行えるようにします。	90 (3 単位)

	コース	スタイリスト サスーンカット エステ メイク ネイル 着付け まつげエクステ	必修科目において習得した基礎技術を 基に、さらに発展させた高度な技術を 身につけ、それぞれのコースで認定資 格取得を目指します。	60 (2 単位)
合 計				2,010 (67 単位)

<衛生専門課程 美容修得者理容科>

課 目		内 容	時間数(単位数)
必修 課 目	理容技術理論	理容器具の種類や正しい使用方法を理 解し、実践の作業に即して理容の技術 理論を学びます。	120 (4 単位)
	理容実習	理論をふまえた上で、カット、シャン プー、シェービング、ワインディング など基礎から応用まで幅広く技術を身 につけます。	690 (23 単位)
選 択 課 目	総合技術	必修科目において習得した基礎技術を 基に、さらに発展させた高度な技術を 身につけます。	120 (4 単位)
	国家試験対策	カット、シェービング、セットの国家 試験課題をマスターし、すべて技術が 国家試験の手順通りに衛生的に行える ようにします。	90 (3 単位)
合 計			1,020 (34 単位)

<衛生専門課程 理容修得者美容科>

課 目		内 容	時間数(単位数)
必修 課 目	美容技術理論	美容器具の種類や正しい使用方法を理 解し、実践の作業に即して美容の技術 理論を学びます。	120 (4 単位)
	美容実習	理論をふまえた上で、カット、カラー リング、ワインディングなど基礎から 応用まで幅広く技術を身につけます。	690 (23 単位)
選 択 課 目	総合技術	必修科目において習得した基礎技術を 基に、さらに発展させた高度な技術を 身につけます。	120 (4 単位)
	国家試験対策	カット、ワインディング、ウェーブの 国家試験課題をマスターし、すべて技 術が国家試験の手順通りに衛生的に行 えるようにします。	90 (3 単位)
合 計			1,020 (34 単位)

課目名	関係法規・制度			
単位(時間)	1単位(30時間)		授業方法	講義
実施方針	理容師・美容師の業務に係る衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識を習得しておかなければならない必要性を理解させ、あわせて、公衆衛生を担う理容師・美容師の社会的責務、職業倫理について、自覚を促すこと。理容・美容の業務に関する規定内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が、理容業・美容業を行う場合の指針として有する意義を把握させること。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	1	社会生活における法の役割	1	養成施設
	1	人と社会生活・法とは何か	1	試験
	1	法の形式・憲法・条約・法律	1	免許登録
	1	命令・自治法規	1	義務
	1	衛生法規の概要(小テスト)	1	業務停止(小テスト)
	1	附属法令	1	免許取消・再免許
	1	衛生行政の意義と歴史	1	管理理容師・管理美容師
	1	生活衛生行政	1	理容所・美容所
	1	行政機関・しくみ	1	開設
	1	厚生・労働省・役割(小テスト)	1	衛生措置(小テスト)
	1	保健所の役割、都道府県	1	立入検査・環境衛生監視員
	1	まとめ(概要)	1	違反者等に対する行政処分
	1	理容師法・美容師法の目的	1	審査請求
	1	施行令・施行細則	1	罰則
1	用語の定義(小テスト)	1	関連法規(運営・衛生・顧客)	
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	衛生管理					
単位(時間)	3単位(90時間)		授業方法	講義		
実施方針	<p>公衆衛生の意義と本質とを明らかにすることによって、理容師・美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させることが必要であること。特に、生活衛生の意義と目的について、理容師・美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させること。理容師・美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、理容・美容における衛生措置の重要性について理解させること。特に、理容・美容器具などの消毒法は、理容・美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身に付けさせることが肝要であること。</p>					
授業内容 計 画	衛生管理技術	時間	内 容	公衆衛生学・環境衛生	時間	内 容
		1	衛生管理技術を学ぶ目的、病原微生物の種類と構造		1	公衆衛生の意義と課題
		1	消毒の原理、消毒の意義		1	公衆衛生発展の歴史 欧米の公衆衛生の歩み
		1	理容・美容の業務と消毒との関係		1	公衆衛生発展の歴史 我が国の公衆衛生の歩み
		1	消毒法と適用上の注意、消毒法の種類、必要な条件		1	公衆衛生発展の歴史 消毒法の歴史
		1	病原微生物の抵抗力、消毒薬使用液の保存上の注意		1	理容師美容師と公衆衛生 歴史の中の理容師美容師と公衆衛生
		1	消毒法各論 紫外線消毒、煮沸消毒		1	理容師美容師と公衆衛生 公衆衛生と理容師美容師
		1	蒸気消毒、その他の理学的消毒法		1	保健所と理容業・美容業
		1	エタノール消毒、次亜塩素酸ナトリウム消毒		1	母子保健 母子保健と統計
		1	逆性石けん、両性界面活性剤消毒		1	母子保健 母子保健の意義 母子の健康管理
		1	グルコン酸クロルヘキシジン消毒、その他の消毒薬		1	成人・高齢者保健 我が国における死亡率の低下 平均寿命の延び
		1	まとめ、ノート提出		1	成人・高齢者保健 生活習慣病とその対策 健康増進対策
		1	中間試験		1	成人・高齢者保健 がん 心臓病
		1	すぐれた消毒法とその実施上の注意		1	成人・高齢者保健 脳卒中 糖尿病
		1	消毒を行う際の注意事項		1	成人・高齢者保健 喫煙 アルコール
		1	消毒法実習 消毒薬の概要		1	成人・高齢者保健 身体活動運動 高齢者の保健と福祉
		1	器具の使い方、常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度		1	精神保健
		1	消毒薬希釈法 まとめ		1	環境衛生の内容
		1	練習問題		1	環境衛生の目的と意義
		1	理容所・美容所の消毒の実際 消毒設備		1	環境衛生活動
		1	理容・美容器具類の消毒法、手指消毒		1	空気環境 空気と健康
		1	その他のものの消毒、理容所・美容所の消毒の実際		1	空気環境 温度湿度気流と健康
		1	中間試験		1	衣服の衛生
		3	理容所・美容所の清潔法の実際		1	住居の衛生 採光と照明
	1	まとめのプリント	1	住居の衛生 換気 冷暖房		
	4	総合学習 模擬テスト	1	上水道		
	感染症	4	人と感染症	1	下水道	
		4	病原微生物	1	廃棄物	
		9	感染症の予防	1	衛生害虫	
		1	理容・美容と感染症	1	ネズミ	

	10	主な感染症	1	環境保全
	2	具体的対策の例		
評価方法 基準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			



課目名	保健				
単位(時間)	3単位(90時間)		授業方法	講義	
実施方針	理容・美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とすること。理容・美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させること。				
授業内容 計画	人体の構造および機能	時間	内 容	時間	内 容
		3	第1章頭部、顔部、頸部の体表解剖学(各回確認テスト)	1	のまとめ(まとめのプリント)
		4	第2章骨格器系(5、6、7回目確認テスト)、1章テスト(4回目)	2	対外保護作用、冬休み明けテスト
		3	第3章筋系(8,9回目確認テスト)、2章、3章テスト(10回目)	1	体温調節作用～呼吸作用
		5	第4章神経系、夏休み明けテスト(11回目)	1	吸収作用～再生作用
		5	第5章感覚器系、4章テスト(16回目)5章テスト(20回目)	1	毛のはたらき、爪のはたらき、小テスト、3学期のまとめ(まとめのプリント)
		5	第6章血液・循環器系、冬休み明けテスト(21回目)6章テスト(25回目)	1	皮膚と全身状態～5項 皮膚と体内病変、春休み明けテスト
		5	第7章呼吸器系、春休み明けテスト(26回目)	1	皮膚の水分と脂の状態
		5	第8章消化器系、7章テスト(31回目)8章テスト(35回目)	2	皮膚・付属器官とホルモン 小テスト
	5	人体の構造及び機能の総復習(まとめテスト5回)	3	皮膚の保護と手入れ、小テスト	
	皮膚科学	1	皮膚の表面	1	毛の保護と手入れ
		1	皮膚の断面	1	爪の保護と手入れ、子供のおしゃれによる皮膚トラブル小テスト
		2	表皮(1)角化細胞	1	1学期のまとめ(まとめのプリント)
		1	色素細胞	1	皮膚の異常とその種類～皮膚疾患の治療法、夏休み明けテスト
		1	ランゲルハンス細胞、真皮、小テスト	1	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹、口唇の疾患、小テスト
		2	真皮、小テスト	1	温感・寒冷による皮膚障害～色素異常による皮膚疾患
		1	皮下組織、皮膚の部位差、小テスト	1	血管腫～分泌異常による皮膚疾患
		1	第1章 まとめ(まとめプリント)	1	化膿菌による皮膚疾患、小テスト
		3	毛〈1〉毛の構造、夏休み明けテスト	2	ウイルスによる皮膚疾患、15項 真菌による皮膚疾患
		1	〈2〉毛の型と毛の成長周期、〈3〉毛の型の変化	1	衛生害虫による皮膚疾患、17項 感染症の皮膚疾患の予防
2		〈4〉毛の成長、小テスト	1	毛と爪の疾患、19項 皮膚の腫瘍	
1	〈5〉毛の性状、〈6〉立毛筋	1	2学期のまとめ(まとめのプリント)		
1	脂腺(皮脂腺)	5	プリントを使用し、教科書の総復習する。		
1	汗腺、小テスト				
評価方法 基準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験				

課目名	香粧品化学			
単位(時間)	2単位(60時間)	授業方法	講義	
実施方針	<p>香粧品は、理容・美容技術を行う上で欠くことのできないものである反面、その使用方法を誤れば重大な健康被害を起こすおそれがあるものであることから、その化学的な性質を理解させるとともに、これを正しく使用するためには正確な知識と適正な技術とを身に付けることが重要であることを認識させること。理容・美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、香粧品の正確な科学的知識と合理的な取扱方法を習熟させ、あわせて、香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること。</p>			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	1	香粧品の社会意義と品質特性	2	ベースメイクアップ香粧品
	1	香粧品の規則	2	ポイントメイクアップ香粧品 第4章 まとめテスト
	1	香粧品の安全性と取り扱い上の注意	2	シャンプー剤
	1	香粧品の安全性 第1章 まとめテスト	2	スタイリング剤
	1	水性原料	3	パーマ剤
	2	油性原料	3	ヘアカラー剤
	2	界面活性剤	2	育毛剤 第5章まとめテスト
	2	高分子化合物	2	芳香製品
	2	色材	2	特殊香粧品 第6章まとめテスト
	1	香料	2	第1章の問題演習及び解説
	2	その他の配合成分 第2章 まとめテスト	2	第2章の問題演習及び解説(1)
	2	皮膚清浄用香粧品	2	第2章の問題演習及び解説(2)
	2	化粧水	2	第3章の問題演習及び解説
	2	クリーム・乳液	2	第5章の問題演習及び解説(1)
	2	その他の基礎化粧品 第3章まとめテスト	2	第5章の問題演習及び解説(2)
	2	メイクアップ用香粧品の種類と剤形	2	第6章の問題演習及び解説
評価方法 基 準	<p>出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験</p>			

課目名	文化論			
単位(時間)	2単位(60時間)	授業方法	講義	
実施方針	日本・西洋の文化の歴史、主に髪型・服装・メイクの変遷について学ぶ			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	3	総論(理容の職業について)		
	2	日本の理容業の歴史		
	1	縄文・弥生・古墳時代		
	2	古代(飛鳥・奈良・平安時代)		
	3	中世(平安末～戦国時代)近世(戦国末・安土桃山時代)		
	5	近世(江戸時代)		
	4	近代(明治・大正・昭和20年まで)		
	7	現代(1945年～2000年代以降)		
	2	西洋古代エジプト～中世ヨーロッパ		
	3	近世(16世紀～18世紀)		
	4	近代(18世紀末～19世紀)		
	9	現代(1910年～2010年)		
	2	和装の礼装		
	4	洋装の礼装		
10	まとめ・復習			
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	運営管理			
単位(時間)	1単位(30時間)		授業方法	講義
実施方針	経営管理及び労務管理の基本的事項を学習することによって、理容業・美容業における経営管理手法の重要性を認識させ、理容所・美容所の経営に役立たせること。理容業・美容業において、適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚させるとともに、消費者対応の基本を学ばせ、実践する能力を身に付けさせること。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	2	経営とは、経営者についての基本的な考え方を学ぶ	3	人を管理する取り組み「労務管理」の必要性と意義
	1	経営とは具体的に何をすることなのか。	1	給与の労務管理上の役割
	1	経営に必要な基本的な考え方を学ぶ。	1	待遇・福利厚生について
	1	経営戦略について学ぶ	1	労務管理(労働者の権利について)
	1	顧客に選ばれるよい店とはなにか。ディスカッション形式	1	健康管理
	1	経営者の視点	1	公的年金・医療保険・労働保険・マイナンバー制度等
	1	よい店とは。ディスカッション形式(振り返りテスト)	1	顧客が求める価値・顧客満足の実現のためのシステム
	2	理美容業の業界の現状について学ぶ	3	マーケティング(特徴・要点・要因について)
	1	サービスの本質とはなにか。	3	サービスのシステム化
	1	顧客の意向や動向に関して状況を把握する。	2	接客の実践
	1	経営の中で重要性の高い資金管理について学ぶ。		
	1	経営における収支や損益について学ぶ。		
	1	会計の考え方を通して店でのお金の動きについて考える。		
	1	コスト管理について		
	1	税金について(振り返りテスト)		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	理容技術理論			
単位(時間)	5単位(150時間)		授業方法	講義
実施方針	理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせて完成させる技術を習得させること。個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	4	序章・第1章(理容技術の基礎・技術姿勢)		
	8	第2章(理容用具について)		
	13	第3章(ヘアデザインについて)		
	10	第4章(ヘアカットについて)		
	11	第5章(ヘアセットについて)		
	13	第6章(パーマセットについて)		
	10	第7章(ヘアカラーリングについて)		
	17	第8章(シェービングについて)		
	14	第9章(理容エステティックについて)		
	6	第10章(理容クリニックについて)		
	12	第11章(シャンプーについて)		
	3	第12章(理容マッサージ)		
	9	第13章(ヘアトリートメント)第14章(ヘアトリートメント)		
	20	各章のまとめ・復習		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	理容実習						
単位(時間)	30単位(900時間)	授業方法	実習				
実施方針	理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること。理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。						
授業内容 計 画	カ ッ ト	時間	内 容	ワ イ ン デ イ ン グ	時間	内 容	
		2	シザー持ち方、コームの持ち方		1	ブロッキングチェック	
		12	新聞切り		7	セッティング 上巻き 下巻き	
		1	新聞切りテスト		14	センター	
		34	セイムレイヤー		12	右サイド 左サイド	
		53	ワンリングスカット		5	トップ	
		3	セイムレイヤー確認テスト		30	全頭巻き(バランス)	
		3	ワンリングスカットクラスコンテスト		2	3級テスト	
		6	グラデーションبوب		20	全頭巻き	
		36	国試プレカット		2	2級テスト	
		5	メディアムカット技法練習		15	全頭巻き 30分 仕上がりのきれいさを重視	
		2	丸刈り		2	全頭巻き 30分コンテスト	
	シ ャ ン プ ー	15	メディアムカット手順	シ ャ ン プ ー	1	技法を学ぶ	
		1	メディアムカット手順テスト		4	手順の練習	
		18	メディアムカット練習		2	手順試験	
		1	プレカット確認テスト		4	相モデル	
		1	メディアムカット40分テスト		5	強弱、時間を意識する	
		6	ワンリングスカット学生コンテスト		2	試験	
		1	メディアムカット30分テスト		2	実技テスト	
		6	メディアムカット、セニングカット20分		6	スタンドシャンプー手順	
		1	メディアムカット、セニングカット20分テスト		5	スタンドシャンプー手順テスト	
		30	メディアムカット、セニングカット15分		6	フロントシャンプー手順	
		26	メンズカット		10	スタンドシャンプー～フロンシャンプー	
		1	プレカット確認テスト		6	サイドシャンプー手順	
	シ ェ ー ビ ン グ	1	セイムレイヤー確認テスト	シ ェ ー ビ ン グ	13	サイドシャンプー練習	
		1	メディアムカット、セニングカット15分テスト		2	サイドシャンプー手順テスト	
		2	レザー操作 基本プロセス		6	相モデルテスト	
		11	シェービング手順 姿勢 レザーテクニック		5	バックシャンプー	
		3	額 もみあげ 形と剃り方		5	シャンプー～ナメント	
		2	3級テスト		14	シャンプー及びヘッドマッサージの抱き合わせ実習	
		10	相モデル 各技術の正確性 確認		3	シャンプー12分テスト	
		3	ネックシェービング手順 姿勢 レザーテクニック		15	シャンプー フェイシャルケア 相モデル	
		3	2級テスト		15	シャンプー ヘッドマッサージ フェイシャルケア	
		12	相モデル 各技術の正確性 確認		15	シャンプー シェービング	
		2	眉毛・ひげの手入れ 形について		15	ヘッドスパ シェービング ネックリンパ	
		23	総合 適切な時間内で行う 接客対応 仕上げ確認		15	総合 各種技術の組合せ	
	メ ン ト リ ー シ ャ ン プ ー	13	スチーミング 立ち位置 姿勢 手指の動かし方	メ ン ト リ ー シ ャ ン プ ー	1	使用用具について	
		2	3級テスト		2	基本プロセス	
		9	乳液塗布 マッサージ 拭き取り		10	基礎テクニック 塗布練習	
		3	2級テスト		7	リタッチテクニック	
		2	通し練習		5	ブリーチテクニック	
		3	1級テスト		10	マニキュアテクニック	
4		手順	6		ラップブロー		
9		技法練習	6		テンションブロー		
3		手順テスト	12		ラップブロー～テンションブロー		
3		相モデルテスト	3		アイロン操作		
ワ ン レ ン グ ス		6	ラップブロー		ワ ン レ ン グ ス	10	ラップブロー～フィニッシュ
		6	テンションブロー			6	校内コンテスト
	12	ラップブロー～テンションブロー	60	ステージ用ヘア創作			
	3	アイロン操作	12	フリースタイル			
	10	ラップブロー～フィニッシュ	30	掃除 接客 用具の準備・片付け 仕事の流れ等を学ぶ			
	6	校内コンテスト	30	掃除 接客 用具の準備・片付け 仕事の流れ等を学ぶ			
ヘ ア サ ー ビ ス	6	ブロッキング	ヘ ア サ ー ビ ス	30	大会種目の集中練習		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験						

課目名	美容技術理論			
単位(時間)	5単位(150時間)		授業方法	講義
実施方針	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	8	美容技術理論を学ぶにあたって		
	10	美容用具		
	9	シャンプーイング		
	13	ヘアデザイン		
	15	ヘアカッティング		
	12	パーマネットウエーブ		
	18	ヘアセッティング		
	12	ヘアカラーリング		
	8	エステ		
	8	ネイル		
	10	メイクアップ		
	9	日本髪		
	18	着付け		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	美容実習			
単位(時間)	30単位(900時間)		授業方法	実習
実施方針	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	100	シャンプー:クロスかけ、ブラッシング、ヘッドマッサージ、サイドシャンプー、バックシャンプー	20	エステ:機器の説明、技術トレーニング、マッサージ、相モデル実習
	140	ワインディング:上巻き、下巻き、国家試験構成、オールパーパス、ウィッグにパーマをかける、ブロッキング、スライシング	30	ネイル:理論、ネイルケア、ネイルアート、魅髪祭ネイルアート作品作り
	130	カット:シザー操作、ワンレングスカット、グラデーションカット、レイヤーカット、セიმレングスカット、レザーカット、ドライカットデモンストレーション、VSカットコンテスト、サスーンカット、国家試験レイヤーカット	60	サロンワーク:接客マナー、タオルクロスかけ、ブラッシングなどサロンでの動き
			50	コンテスト練習:ワインディング、レイヤーカット、オールウェーブセットアップ、アップスタイル、ネイルアート
	180	セットアップ:ブロー、ドライ、ロールブラシ、ストレートアイロン、ロールアイロン、ローラー、アップスタイル、日本髪、夜会巻き、魅髪祭アップスタイル、フィンガーウエーブ、国家試験オールウエーブセットアップ、		
	100	カラーリング:理論、ブリーチ、マニキュア、相モデルリタッチ、カラーチャート作り、サスーンコンテストカラー		
	60	着付:浴衣、留袖、袴、振袖		
	30	メイクアップ:スキンケア～メイクアップ、まつげエクステンション技術展示		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			



課目名	芸術				
単位(時間)	1単位(30時間)		授業方法	講義	
実施方針	理容・美容にふさわしい人間性を磨く。コミュニケーションの能力を高め、お客様の対応をスムーズにする。コンサルティング・コーチング・心理カウンセリングの技法を身につける。デッサンにより、顔を立体的にとらえ、よりお客様に適した仕事をする。デッサン力を高め、オリジナルな創作や研究を記録・保存する。				
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容	
	1	導入カウンセリングとは、ピアカウンセリングの目的	2	外顔について 正面の顔のデッサン(学生同士モデル)モデルをよく観察し長所を引き出す	
	2	カウンセリングの手法、コンサルティングの欲求、コンサルティングとは、コーチングとは、心理カウンセリングとは			
	3	カウンセリングに必要な基礎知識、個人情報の保護、心の仕組みと働き①認識の仕組み②感情の仕組み③行動の仕組み④身体感覚の仕組み⑤記憶の仕組み	1	日本人の顔について分類 斜から見た顔の模写(資料を写す)	
	3	コミュニケーションとストレスの関係 ①言語コミュニケーション ②身体言語(ボディランゲージ) ③環境	2	東洋と西洋の顔の特徴について 斜から見た顔のデッサン(互いにモデル)	
	1	カウンセリングのプロセス ①レポート ②アセスメント	2	石膏デッサン(メジテ頭部) 言葉による顔の表現 眉・目・鼻・口・耳・顎・頭・首・顔全体	
	4	3つの相談技法 ①コンサルティングの技法 ②コーチングの技法 ③心理カウンセリングの技法	1	顔の印象について 横顔の模写(資料を写す)	
	1	導入デッサンとは 形態心理学(錯視)について	2	横から見た顔のデザイン(学生同士モデル)	
	2	モンゴロイドの顔について 顔のプロポーション1:1.4 1:1.618(黄金分割)の比 顔の寸法と顔の部分練習	2	石膏デッサン(アグリッパの頭部) 明暗(陰影)で立体感や量感をたす	
	1	中顔について 正面から見た顔の模写(資料を写す)			
	評価方法 基 準	各学期:テスト80% レポート10% 授業の取り組み10% 1学期・2学期・3学期の平均			

課目名	外国語			
単位(時間)	1単位(30時間)	授業方法	講義	
実施方針	公益財団法人 日本理容美容教育センターの教科書「外国語」を使い、美容理容専門の英会話を中心に練習する。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	1	Unit 1 "Let me introduce myself" Words & Phrases Key Sentence	1	Unit 7 "Can I cut about two inches off?" Dialog "At the Mirror(1)"
	1	Unit 1 "Let me introduce myself" Dialog "Self Introduction"	1	Unit 7 "Can I cut about two inches off?" Dialog "At the Mirror(2)"
	1	Unit 2 "Nice to meet you, too!" Words & Phrases Key Sentence	1	Unit 8 "Have you had a perm before?" Words & Phrases Key Sentences
	1	Unit 2 "Nice to meet you, too!" Dialog "Greeting"	1	Unit 8 "Have you had a perm before?" Dialog "Giving a Perm"
	1	Unit 3 "Welcome to Suny's Hair Salon." Words & Phrases Key Sentences	1	Unit 8 "Have you had a perm before?" Let's Try "Tight or Loose"
	1	Unit 3 "Welcome to Suny's Hair Salon." Dialog "At the reception Desk"	1	Unit 9 "How would you like it colored?" Words & Phrases Key Sentences
	1	Unit 4 "Thanking you for your calling" Words & Phrases Key Sentences	1	Unit 9 "How would you like it colored?" Dialog "Coloring the Hair"
	1	Unit 4 "Thanking you for your calling" Dialog "On the Phone"	1	Unit 10 "I hope you like it." Words & Phrases Key Sentences
	1	Unit 5 "Would you like a new hairstyle?" Words & Phrases Key Sentences	1	Unit 10 "I hope you like it." Dialog "Dressing the Hair"
	1	Unit 5 "Would you like a new hairstyle?" Dialog "At the Consultation Area"	1	Unit 11 "Here's your new member's card." Words & Phrases Key Sentences
	1	Unit 5 "Would you like a new hairstyle?" Let's Try "Simple trim or a new style?"	1	Unit 11 "Here's your new member's card." Dialog "At the Cashier"
	1	Unit 6 "Is the temperature all right?" Words & Phrases Key Sentences	1	Unit 12 "I'm sorry for the inconvenience." Dialog "Apologizing for the Trouble"
	1	Unit 6 "Is the temperature all right?" Dialog "At the Shampoo Area(1)"	1	Unit 13 "It's an inspiring experience!" Dialog "During the Overseas Training(1)"
	1	Unit 6 "Is the temperature all right?" Dialog "At the Shampoo Area(2)"	1	Unit 13 "It's an inspiring experience!" Dialog "During the Overseas Training(1)"
	1	Unit 7 "Can I cut about two inches off?" Words & Phrases Key Sentences	1	第30回: Unit 13 "It's an inspiring experience!" Let's Try
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	色彩学			
単位(時間)	1単位(30時間)		授業方法	講義
実施方針	色彩の見え方や、補色やさまざまな視覚効果を通して、それらがファッションやデザインの分野でどのように活かされているかを学ぶ。AFT色彩検定3級合格レベルに到達することを目標とする。AFT色彩検定3級合格レベルに到達することを目標とする。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	12	色のはたらき ～ 色彩心理		
	10	色彩調和 ～ インテリアのカラーコーディネーション		
	8	色彩検定2級レベルの講義とまとめ		
	評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験		

課目名	接客法			
単位(時間)	2単位(60時間)		授業方法	講義
実施方針	社会人としての一般常識を理解させ、理美容業に於ける接客の意義と技術について具体的事例を挙げながら学び修得させる。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	18	理想の理美容師像を見つける		
	2	現場が求める人材		
	2	就職の前に備えておくべきもの		
	2	良い社会人であるために		
	2	お客様の求めているものを学ぶ		
	2	接客とはなにか		
	2	良い接客とはなにか		
	2	良い接客の基本要素		
	3	接客の計画と実践		
	3	接客の流れのポイント①		
	3	接客の流れのポイント②		
	9	マナーについて学ぶ		
	1	接客の場で起こる問題①トラブル		
	1	接客の場で起こる問題②クレーム		
	1	接客の場で起こる問題③事故・天災		
4	問題への対応			
3	有名人に学ぶ(心の在り様)			
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価			

課目名	トータルケア(理容科)					
単位(時間)	4単位(120時間)	授業方法	実習			
実施方針	理容実習で学んだ基礎をより実践を意識させる。サロンでの特殊な技術に対応できる様な基礎を学ぶ。					
授業内容 計 画		時間	内 容		時間	内 容
	リンパマッサージ	6	外部講師のレクチャー(リンパマッサージ)	エステシェービング		メンズシェービングとの違いを理解する
		2	リンパ手順(ウイッグ)			前額部、襟剃りを学ぶ
		8	リンパマッサージ相モデル実習(力加減に注意する)			アイブローについて学ぶ
		3	リンパマッサージ相モデル実習(時間を意識する)			基本的な流れを復習
		6	リンパマッサージをサロンワーク形式に取り入れる			デコルテのシェービング
	ヘッドエステ	6	外部講師のレクチャー(ヘッドエステ)			組み合わせたメニューを一通り練習
		6	ヘッドエステ手順(ウイッグ)			エステの器具の取り扱いを学ぶ
		3	ヘッドエステ相モデル実習(力加減に注意する)			サロンワークの流れで実習
		12	ヘッドエステ相モデル実習(時間を意識する)			
		6	ヘッドエステをサロンワーク形式に取り入れる			
	ネイル	6	ネイルケアの基礎知識を学ぶ			
		9	ネイルケア 各技術の練習			
		3	技術チェック 筆記試験			
		6	ジェルネイルの基礎を学ぶ			
		3	ジェルネイルのアートを学ぶ			
		7	ジェルネイル ネイルチップ作品制作			
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価					

課目名	総合技術(理容科)					
	実務経験のある教員等による授業					
単位(時間)	6単位(180時間)		授業方法	実習		
実施方針	<p>基礎から応用。時間を意識し、施術する。カット技法、セット技法は、より実践に近い、仕上がりの完成度も高いものを目指す。 毛髪の構造と働き、毛髪のダメージの原因、髪質の見極め方、髪質と施術時間の関係性、界面活性剤とシャンプー剤と成分と働き、トリートメント剤とスタイリング剤の成分と働きなどを知ることで、カウンセリング力を高める。</p>					
授業内容 計画	時間	内 容		時間	内 容	
	2	カルテ作成		2	概論	
サ ロ ン ワ ー ク	1	ヘルプの仕事を理解する	アイ ロ ン	4	平アイロンの基本操作とウイッグでのセット練習	
	6	総合技術とリンパマッサージを組み合わせメニューを実習する。①		3	アイロン練習	
	6	総合技術とカラー・パーマを組み合わせメニューを実習する。②		1	概論	
	6	総合技術とヘッドエステを組み合わせメニューを実習する。③		5	丸アイロン基本操作とウイッグでのセット練習	
	1	全体の振り返り		メ ン ズ セ ツ ト	6	ドライヤーの扱いとブラシ操作
	24	カット・ブロー・アイロン練習			10	クラシカルバック用カット
	3	素材を見つける	14		クラシカルバック	
	3	計画を立てる(進捗・作品・展開図)	2		整髪料の扱い	
	カ ツ ト コ ン テ ス ト	1	展開図チェック後検討	10	サイドバック	
		7	カット・ブロー・アイロン練習	6	クラシカルバック・サイドバック完成度チェック	
2		作品プレカット	毛 髪 科 学	5	毛髪の構造と働き	
7		ブリーチ・ヘアマニキュア		7	毛髪のダメージ	
3		コンテスト		7	技術プロセスにおける前・後処理	
カ ツ ト	3	概論(展開図の理解)		2	シャンプー剤の成分と働き	
	6	カット実習(レザーカット)		2	トリートメント剤の成分と働き	
	3	スタイルごとのセット	2	スタイリング剤の成分と働き		
	3	ミディアムカット	5	総まとめ・検定対策		
評価方法 基準	出席率85%以上 授業への取り組み評価					

課目名	国家試験対策(理容科)			
	実務経験のある教員等による授業			
単位(時間)	3単位(90時間)		授業方法	実習
実施方針	国家試験の100%合格。衛生審査の項目を徹底させることで、公衆衛生に深く関わりのある職業であることを認識させる。また、技術面においては繰り返し訓練することで一層の技術の向上をはかる。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	3	国試、実技手引き理解	6	卒業試験 国試用ウィッグ使用
	3	衛生審査詳細	3	技術確認
	6	国家試験用ウィッグのプレカットの仕方レクチャーと実践	2	衛生審査項目確認
	5	国家試験の一連の流れを確認	6	模擬試験 国試用ウィッグ使用
	3	個人別反省点の指導と修正	7	修正・反省まとめ
	2	準備物、机上配置練習	3	国家試験用 本番プレカット&セット
	3	衛生審査チェック項目の確認と実践	3	一連の作業とそれぞれの反省・技術の最終確認
	4	シェービング、刈り上げ技法	1	器具用具、衛生確認
	3	課題① ミディアムカット 一連の作業		
	2	課題②シェービング 一連の作業		
	3	国家試験 整髪		
	2	課題①練習		
	3	消毒の技術復習		
	6	国試ウィッグ プレカットの方法を学ぶ 2台		
	3	模擬テスト形式 チェツク		
	2	反省・指導・修正		
	6	模擬テスト形式 チェツク		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	トータル・ビューティ			
単位(時間)	5単位(150時間)		授業方法	講義・実習
実施方針	ブライダルの基礎知識、歴史、接客マナーなどをトータルで理解する 実技は、検定試験合格に向けた授業			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	1	オリエンテーション	1	接客知識と専門用語
	2	ウエディングの種類と歴史	1	和装コーディネートの小テスト
	2	セレモニー・レセプションの現状とトレンド	2	ブライダル検定に向けた試験対策
	2	ファッションコーディネート、実物の展示	20	道具の扱い方、テーブルセッティング、メイクの認定試験 に向けてスキンケアからフルメイクまでをテーマを変えて練習
	2	フォーマルファッション、別冊の活用		
	1	カラーコーディネート	40	ネイルケア、アクリル絵の具を使い、テーマに沿ってデザイン を考え描く。ジェルネイルは検定試験初級取得を目指す し、筆記と実技の練習
	2	カラーコーディネート、色彩カードを使った実習		
	1	フラワーコーディネート		
	1	フラワーコーディネート、小テスト		
	2	和装コーディネート		
	1	フォトスタイリング		
	1	フォトスタイリングとカップルのアテンド方法		
	2	結納・婚約の現状とトレンド		
	1	マナー		
	3	マナー、実習		
	1	フラワーアレンジ実習		
1	接客知識			
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価			



課目名	総合技術(美容科)			
	実務経験のある教員等による授業			
単位(時間)	4単位(120時間)		授業方法	実習
実施方針	毛髪の構造と働き、毛髪のダメージの原因、髪質の見極め方、髪質と施術時間の関係性、界面活性剤とシャンプー剤と成分と働き、トリートメント剤とスタイリング剤の成分と働きなどを知ることで、カウンセリング力を高める。 アップスタイル、ヘアアレンジ、メイク、浴衣着付け、ネイルアートなどより実践に近い、仕上がりの完成度も高いものを目指す。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	5	毛髪の構造と働き	15	接客マナー、接客用語、姿勢、電話対応等 接客カウンセリング
	7	毛髪のダメージ		
	7	技術プロセスにおける前・後処理		
	2	シャンプー剤の成分と働き		
	2	トリートメント剤の成分と働き		
	2	スタイリング剤の成分と働き		
	5	総まとめ・検定対策		
	21	アップスタイル ウィッグによるアップスタイル練習		
	18	ヘアアレンジ モデルによる編み込みやヘアセット		
	18	メイク モデルのヘアスタイルに合わせたメイク		
	30	浴衣着付け モデルによる浴衣着付け、帯アレンジ		
18	ネイルアート ネイルチップへのアクリル絵の具でのネイルアート モデルへのネイル3Dアート見学			
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価			

課目名	国家試験対策(美容科)			
	実務経験のある教員等による授業			
単位(時間)	3単位(90時間)	授業方法	実習	
実施方針	国家試験(実技・衛生)合格ラインの技術を身につける			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	3	第1課題 カットイング 技術の解説と展示		
	15	第1課題 カットイング 実習		
	3	第1課題 カットイング 試験		
	3	第2課題 ワインディング 技術の解説と展示		
	15	第2課題 ワインディング 実習		
	3	第2課題 ワインディング 試験		
	3	第2課題 オールウェーブセッティング技術の解説と展示		
	14	第2課題 オールウェーブセッティング 実習		
	2	第2課題 オールウェーブセッティング 試験		
	26	模擬試験 全 7回 採点と講評		
	3	最終確認		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	スタイリストコース			
単位(時間)	2単位(60時間)		授業方法	実習
実施方針	幅広い技術と知識を習得し、コンテストにて自身の最良の作品作りやサロンワーク、フォトシューティングなどの多岐にわたる理美容への魅力の理解を深める。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	7	セッティング(巻き髪、アイロン操作)		
	7	接客とは何か		
	7	サスーンカット		
	7	流行のカットとは(レディースカット)		
	8	面を作る技術(メンズカット)		
	8	カラーリング(ウィービング技術)		
	8	カウンセリング(読み取る力をつける)		
	8	コンテスト作品作成		
	評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価		

課目名	サスンコース			
単位(時間)	2単位(60時間)	授業方法	実習	
実施方針	サスーンカットの基礎的技術に応用を加え技術の幅を広げる			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	7	ワンレングスカット		
	7	グラデーションカット		
	6	レイヤーカット		
	10	ラップブロードライ		
	10	テンションブロードライ		
	10	アイロン操作		
	10	ショートグラデーションカット		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価			

課目名	エステコース			
単位(時間)	2単位(60時間)	授業方法	講義・実習	
実施方針	エステティックの定義・目的を学ぶ 美の提供者としての心構え、意識の確立			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	3	概論理論		
	33	フェイシャルケア及びフェイシャル機器の理論・実習		
	18	ボディケアの理論・実習		
	6	リフレクソロジーまたはヘッドスパの理論・実習		
	評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価		

課目名	ネイルコース			
単位(時間)	2単位(60時間)		授業方法	実習
実施方針	ジェルネイルの基礎的技術の習得 ジェルネイルを基本とし、アクリルやエアブラシなどネイル技術全般を学ぶ			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	3	ジェルアート①(チップ)	3	ネイル検定中級通し練習(相モデル)
	3	ジェルアート②(チップ)	3	ネイル検定3級またはジェル検定中級練習(相モデル)
	3	ジェルアート③(チップ)	3	ジェル検定中級通し練習(相モデル)
	3	ジェルアート④(チップ)		
	3	ジェルアート⑤(チップ)		
	3	ジェルスカulpt(相モデル)		
	3	ジェル検定中級通し練習(相モデル)		
	3	エアブラシ①、ジェルチップ作成		
	3	エアブラシ②、ジェルチップ作成		
	3	エアブラシ③、ジェルチップ作成		
	3	エンボス、3D(チップ)		
	3	エンボス、3D、スカulptチュア(チップまたは相モデル)		
	3	相モデルジェル(ハンドまたはフット)		
	3	相モデルジェル(ハンドまたはフット)ケアも含む		
	3	ジェル、アクリルのミックスチップの作成		
	3	ネイル検定3級またはチップ作成		
3	ネイルケア、トリートメント(相モデル)			
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価			

課目名	着付けコース			
単位(時間)	2単位(60時間)	授業方法	講義・実習	
実施方針	着物の基礎的技術、留袖の検定に向けての技術習得、また、応用として振袖の技術修得を目指す			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	3	着物全般に関する知識と補整の作り方、襟とじ、準備の仕方	3	変わり文庫の結び方
	3	着物のたたみ方、襟とじ、補整の使用方法和付け方	3	最終仕上げ 個人創作帯結び
	3	補整、長襦袢の着付け		
	3	着物着付け		
	3	補整、長襦袢の着付けタイムどり		
	3	着物着付けまでのタイムどり		
	3	帯の説明と巻き方、お太鼓結び		
	3	補整から帯結びまで		
	3	検定に向けての心構えと実習		
	3	検定に向けての準備とタイムどり		
	3	留袖検定に向けて総ざらい		
	3	検定模擬と復習		
	3	留袖検定試験		
	3	振袖着付け 人体にて 補正と長襦袢		
	3	振袖着付け展示と実習 小物の使い方		
	3	帯結び ふくら雀の展示と実習		
3	帯結びと小物の使い方 応用			
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価			

課目名	まつげエクステンションコース			
単位(時間)	2単位(60時間)		授業方法	講義・実習
実施方針	衛生的な基本知識の習得はもちろん、検定試験に向けての技術の習得を目指す			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	4	理論(概論・用具・衛生管理)		
	4	理論(保健・カウンセリング・技術)		
	3	実技 テーブルセッティング・かき分け練習		
	3	実技 かき分け練習・紙に装着練習		
	3	実技 テーピング・ウィッグに装着		
	5	実技 リムービング		
	3	実技 カウンセリング		
	11	実技 テーピング・装着・リムービング		
	20	実技 タイムトライアル		
	4	実技・筆記 『技術者認定試験』		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価			



課目名	メイクコース			
単位(時間)	2単位(60時間)	授業方法	講義・実習	
実施方針	メイクの基礎的技術に応用を加え技術の幅を広げる			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	3	教材説明、アイブロウの実習		
	6	アイブロウ、3級実技		
	6	パーソナルカラー		
	10	3級実技		
	10	2級実技		
	6	ケサランパサラン作品作り（撮影）		
	10	2級・3級実技		
	6	検定試験		
	3	ヘアメイク撮影		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価			

課目名	理容技術理論(美容修得者理容科)			
単位(時間)	4単位(120時間)		授業方法	講義
実施方針	理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること。個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	4	序章・第1章(理容技術の基礎・技術姿勢)		
	8	第2章(理容用具について)		
	10	第3章(ヘアデザインについて)		
	10	第4章(ヘアカッティングについて)		
	5	第5章(ヘアセットについて)		
	5	第6章(パーマネントセットについて)		
	10	第7章(ヘアカラーリングについて)		
	17	第8章(シェービングについて)		
	14	第9章(理容エステティックについて)		
	3	第10章(理容クリニックについて)		
	12	第11章(シャンプーについて)		
	3	第12章(理容マッサージ)		
	9	第13章(ヘアトリートメント)第14章(ヘアトリートメント)		
	10	各章のまとめ・復習		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	理容実習(美容修得者理容科)				
単位(時間)	23単位(690時間)		授業方法	実習	
実施方針	理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術の習得させること。理容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた理容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。				
授業内容 計 画	時間	内 容		時間	内 容
	2	シザー持ち方、コームの持ち方	メ トリ ン シ ヤ ト	13	スチーミング 立ち位置 姿勢 手指の動かし方
	12	新聞切り		2	3級テスト
	1	新聞切りテスト		9	乳液塗布 マッサージ 拭き取り
	34	セイムレイヤー		3	2級テスト
	53	ワンレングスカット		2	通し練習
	3	セイムレイヤー確認テスト		3	1級テスト
	3	ワンレングスカットクラスコンテスト		4	手順
	6	グラデーションボブ		9	技法練習
	36	国試プレカット		3	手順テスト
	10	メディアムカット技法練習		3	相モデルテスト
	2	丸刈り	ナ ヘ マ ツ ト	1	技法を学ぶ
	15	メディアムカット手順		4	手順の練習
	1	メディアムカット手順テスト		2	手順試験
	60	メディアムカット練習		4	相モデル
	1	プレカット確認テスト		5	強弱、時間を意識する
	1	メディアムカット40分テスト		2	試験
	1	メディアムカット30分テスト		2	実技テスト
	6	メディアムカット、セニングカット20分		6	スタンドシャンプー手順
	1	メディアムカット、セニングカット20分テスト		5	スタンドシャンプー手順テスト
	50	メディアムカット、セニングカット15分		6	フロントシャンプー手順
	26	メンズカット	10	スタンドシャンプー～フロンシャンプー	
	1	プレカット確認テスト	6	サイドシャンプー手順	
	1	セイムレイヤー確認テスト	13	サイドシャンプー練習	
	1	メディアムカット、セニングカット15分テスト	2	サイドシャンプー手順テスト	
	2	レザー操作 基本プロセス	6	相モデルテスト	
	20	シェービング手順 姿勢 レザーテクニック	5	バックシャンプー	
	3	額 もみあげ 形と剃り方	5	シャンプーーナメント	
	2	3級テスト	14	シャンプー及びヘッドマッサージの抱き合わせ実習	
	15	相モデル 各技術の正確性 確認	3	シャンプー12分テスト	
9	ネックシェービング手順 姿勢 レザーテクニック	15	シャンプー フェイシャルケア 相モデル		
3	2級テスト	15	シャンプー ヘッドマッサージ フェイシャルケア		
20	相モデル 各技術の正確性 確認	15	シャンプー シェービング		
2	眉毛・ひげの手入れ 形について	15	ヘッドスパ シェービング ネックリンパ		
60	総合 適切な時間内で行う 接客対応 仕上がり確認	15	総合 各種技術の組合せ		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験				

課目名	総合技術(美容修得者理容科)			
単位(時間)	4単位(120時間)		授業方法	実習
実施方針	基礎から応用。時間を意識し、施術する。カット技法、セット技法は、より実践に近い、仕上がりの完成度も高いものを目指す。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	32	サロンワーク カルテ作成、総合実習		
	53	カット 概論、メンズカット、メンズセット		
	5	アイロン 概論、アイロンセット		
	30	クラシカルバック ドライヤーの扱いとブラン操作、整髪料の扱い		
	評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価		

課目名	国家試験対策(美容修得者理容科)			
	実務経験のある教員等による授業			
単位(時間)	3単位(90時間)		授業方法	実習
実施方針	国家試験の100%合格。衛生審査の項目を徹底させることで、公衆衛生に深く関わりのある職業であることを認識させる。また、技術面においては繰り返し訓練することで一層の技術の向上をはかる。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	3	国試、実技手引き理解	6	卒業試験 国試用ウイッグ使用
	3	衛生審査詳細	3	技術確認
	6	国家試験用ウイッグのプレカットの仕方レクチャーと実践	2	衛生審査項目確認
	5	国家試験の一連の流れを確認	6	模擬試験 国試用ウイッグ使用
	3	個人別反省点の指導と修正	7	修正・反省まとめ
	2	準備物、机上配置練習	3	国家試験用 本番プレカット&セット
	3	衛生審査チェック項目の確認と実践	3	一連の作業とそれぞれの反省・技術の最終確認
	4	シェービング、刈り上げ技法	1	器具用具、衛生確認
	3	課題① ミディアムカット 一連の作業		
	2	課題②シェービング 一連の作業		
	3	国家試験 整髪		
	2	課題①練習		
	3	消毒の技術復習		
	6	国試ウイッグ プレカットの方法を学ぶ 2台		
	3	模擬テスト形式 チェック		
	2	反省・指導・修正		
6	模擬テスト形式 チェック			
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	美容技術理論(理容修得者美容科)			
単位(時間)	4単位(120時間)	授業方法	講義	
実施方針	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	5	美容技術理論を学ぶにあたって		
	6	美容用具		
	8	シャンプーイング		
	10	ヘアデザイン		
	12	ヘアカットイング		
	12	パーマネントウェーブ		
	15	ヘアセットイング		
	8	ヘアカラーリング		
	8	エステ		
	8	ネイル		
	10	メイクアップ		
	8	日本髪		
	10	着付け		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

課目名	美容実習(理容修得者美容科)			
単位(時間)	23単位(690時間)		授業方法	実習
実施方針	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	30	シャンプー:クロスかけ、ブラッシング、ヘッドマッサージ、サイドシャンプー、バックシャンプー	20	エステ:機器の説明、技術トレーニング、マッサージ、相モデル実習
	140	ワインディング:上巻き、下巻き、国家試験構成、オールパーパス、ウィッグにパーマをかける、ブロッキング、スライシング	20	ネイル:理論、ネイルケア、ネイルアート
	100	カット:シザー操作、ワンレングスカット、グラデーションカット、レイヤーカット、セიმレングスカット、レザーカット、ドライカットデモンストレーション、国家試験レイヤーカット	50	サロンワーク:接客マナー、タオルクロスかけ、ブラッシングなどサロンでの動き
	180	セットリング:ブロー、ドライ、ロールブラシ、ストレートアイロン、ロールアイロン、ローラー、アップスタイル、日本髪、夜会巻き、魅髪祭アップスタイル、フィンガーウエーブ、国家試験オールウエーブセットリング、		
	60	カラーリング:理論、ブリーチ、マニキュア、相モデルリタッチ、カラーチャート作り		
	60	着付:浴衣、留袖、袴、振袖		
	30	メイクアップ:スキンケア~メイクアップ、まつげエクステンション技術展示		
	評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験		

課目名	総合技術(理容修得者美容科)			
単位(時間)	4単位(120時間)		授業方法	実習
実施方針	幅広く知識を得ることで、サロンワークでの技術に結び付け応用できる力を身につける。			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	21	アップスタイル ウィッグによるアップスタイル練習		
	18	ヘアアレンジ モデルによる編み込みやヘアセット		
	18	メイク モデルのヘアスタイルに合わせたメイク		
	30	浴衣着付け モデルによる浴衣着付け、帯アレンジ		
	18	ネイルアート ネイルチップへのアクリル絵の具でのネイルアート モデルへのネイル3Dアート見学		
	15	接客マナー、接客用語、姿勢、電話対応等 接客カウンセリング		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価			



課目名	国家試験対策(理容修得者美容科)			
	実務経験のある教員等による授業			
単位(時間)	3単位(90時間)	授業方法	実習	
実施方針	国家試験(実技・衛生)合格ラインの技術を身につける			
授業内容 計 画	時間	内 容	時間	内 容
	3	第1課題 カットイング 技術の解説と展示		
	15	第1課題 カットイング 実習		
	3	第1課題 カットイング 試験		
	3	第2課題 ワインディング 技術の解説と展示		
	15	第2課題 ワインディング 実習		
	3	第2課題 ワインディング 試験		
	3	第2課題 オールウェーブセッティング技術の解説と展示		
	14	第2課題 オールウェーブセッティング 実習		
	2	第2課題 オールウェーブセッティング 試験		
	26	模擬試験 全 7回 採点と講評		
	3	最終確認		
評価方法 基 準	出席率85%以上 授業への取り組み評価 試験で60点以上 60点未満の場合 再試験			

実務経験のある教員等による授業課目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》

衛生専門課程

<理容科>

課目名	単位数等	
	単位	時間
総合技術	6	180
国家試験対策	3	90
合 計	9	270

<美容科>

課目名	単位数等	
	単位	時間
総合技術	5	150
国家試験対策	3	90
合 計	8	240

<美容修得者理容科>

課目名	単位数等	
	単位	時間
国家試験対策	3	90
合 計	3	90

<理容修得者美容科>

課目名	単位数等	
	単位	時間
国家試験対策	3	90
合 計	3	90

(成績の分布を表す資料)

令和2年度

客観的な指標の算出方法					
履修課目の成績評価を点数化し、全課目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)					
学科名	理容科	学年	1	学生数	15
成績の分布					
指標の数值	59点以下	60～69点	70～79点	80～89点	90～100点
人数	0	4	4	4	3
下位1/4に該当する人数 4人					
下位1/4に該当する指標の数值 69点以下					

客観的な指標の算出方法					
履修課目の成績評価を点数化し、全課目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)					
学科名	美容科	学年	1	学生数	140
成績の分布					
指標の数值	59点以下	60～69点	70～79点	80～89点	90～100点
人数	0	81	22	21	16
下位1/4に該当する人数 35人					
下位1/4に該当する指標の数值 60点以下					